

CORO PIENO

コーロ・ピエーノ

パレストリーナからバッハへ ～パレストリーナ生誕 500 年を記念して～



G.P.da パレストリーナ：聖なる日が光り輝く、泉の水を求める鹿のように
「ミサ シネ・ノミネ (6 声)」より キリエ、グローリア
J.S. バッハ：私はあなたを離さない BWV Anh.159
来たれイエスよ BWV 229 ほか

客演指揮 田尻 健

テオルボ 太田 耕平 バロックチェロ 中嶋 寄恵 オルガン 福田 のぞみ
合唱 コーロ・ピエーノ

2025年 6月 14日(土) 午後 3時 開演 (午後 2時半開場)

西南学院大学チャペル

全席自由 1,500 円 電子チケット (teket) 右の QR コードから ⇒



<チケット・お問い合わせ>

田中税理士事務所内 田中 Tel. 092-712-4799 (平日) mail: coro_pieno@yahoo.co.jp

後援：福岡市 (公財)福岡市文化芸術振興財団 福岡県合唱連盟 福岡音楽団体連絡会



出演者



田尻 健
Takeshi Tajiri
客演指揮

熊本県出身。関西学院大学法学部法律学科卒業。エリザベト音楽大学大学院音楽研究科宗教音楽専攻修士課程修了。フランスのオーベルヴィリエ・ラ・クールヌーヴ地方音楽院にてバロック声楽の DEM(音楽研究資格)取得。

©Martin Chiang

ヘンデルの「メサイア」、バッハの「ロ短調ミサ」、モーツァルトの「レクイエム」等のソリストを務める。オペラではカヴァッリの「カリスト」パーネ役、ヘンデルの「アルチーナ」オロンテ役、ラモアの「プラター」テスピス役などを演じる。ベアータ・ムジカ・トキエンシス、古楽アンサンブル コントラポント、Les Barokments のメンバー。コーロ・ピエーノ客演指揮者。Hiroshima Bach Soloists 主宰。エリザベト音楽大学非常勤講師。



太田 耕平
Kohei Ota
テオルボ

2001年イタリアへ渡りヴィチェンツァ国立音楽大学にてクラシック・ギターをS. グロンドーナ氏に師事。2007年09月同大学ギター科を最高点首席にて卒業。2007年11月ドイツ・フランクフルトに移住、フランクフルト国立音楽大学古楽専門学部にてリュートを今村泰典氏に師事。在学時より、リュート奏者としてソロ、アンサンブル、オーケストラとの共演などの活動を始める。2014年7月同大学リュート科を卒業。2016年10月15年のヨーロッパ生活にピリオドをうち、完全帰国。福岡を拠点にギター・リュート奏者として演奏活動やレッスン活動、音楽講座の主催、演奏会の企画など多岐にわたる活動を展開している。

クフルト国立音楽大学古楽専門学部にてリュートを今村泰典氏に師事。在学時より、リュート奏者としてソロ、アンサンブル、オーケストラとの共演などの活動を始める。2014年7月同大学リュート科を卒業。2016年10月15年のヨーロッパ生活にピリオドをうち、完全帰国。福岡を拠点にギター・リュート奏者として演奏活動やレッスン活動、音楽講座の主催、演奏会の企画など多岐にわたる活動を展開している。



中嶋 寄恵
Yorie Nakashima
バロックチェロ

鳥取県出身。大阪教育大学教養学科芸術音楽コース卒業。相愛大学音楽学部音楽専攻科修了。同大学卒業演奏会出演。在学中より鈴木秀美氏に影響を受け、バロックチェロで東京藝術大学古楽科別科を修了。ゲヴァント

ハウス弦楽四重奏団、ジャパン・ストリング・カルテットによる phenix OSAQA2012、ヴィオラスペース、プラハ音楽院教授ミロスラフ・ペトラージュ氏等のマスターコース受講。これまで、山本彩子、大木愛一、鈴木秀美に師事。地元鳥取県では、学校訪問、絵本の朗読と演奏、こども合奏団の指導など、子供達に向けた活動を積極的に行っている。



福田 のぞみ
Nozomi Fukuda
オルガン

福岡女学院高校音楽科、洗足学園音楽大学パイプオルガン専攻卒業。在学中、日本オルガニスト協会第3回オルガンコンクール入選。国内外のオルガンアカデミーに参加。1998年、北九州聖楽研究会と共にドイツのラ

イプツイヒで現地の古楽アンサンブルと共演、またソロ演奏も行った。2019年スペイン・バスク地方における音楽祭にハルモニウム奏者として招かれ、好評を博す。その他、オーケストラ、合唱団との共演、通奏低音奏者としても活躍。また各地で教会コンサートなどに数多く出演。現在、西南学院大学神学部非常勤講師。西南学院大学、北九州聖楽研究会オルガニスト。

コーロ・ピエーノ 合唱

1981年の結成以来、西洋音楽の原点といわれる中世・ルネサンス音楽に取り組み、ア・カペラ（無伴奏）合唱の純粋な響きや小編成の声楽アンサンブルの軽妙さ、古楽器との協演などを通して、比較的演奏機会の少ない当時の音楽の魅力、楽しさを伝えようと活動を行ってきた混声合唱団。新・福岡古楽音楽祭や合唱祭への出演、年に1回の自主公演などを活動の柱としている。



http://fine.music.coocan.jp/CORO_PIENO/index.html

会場アクセス

